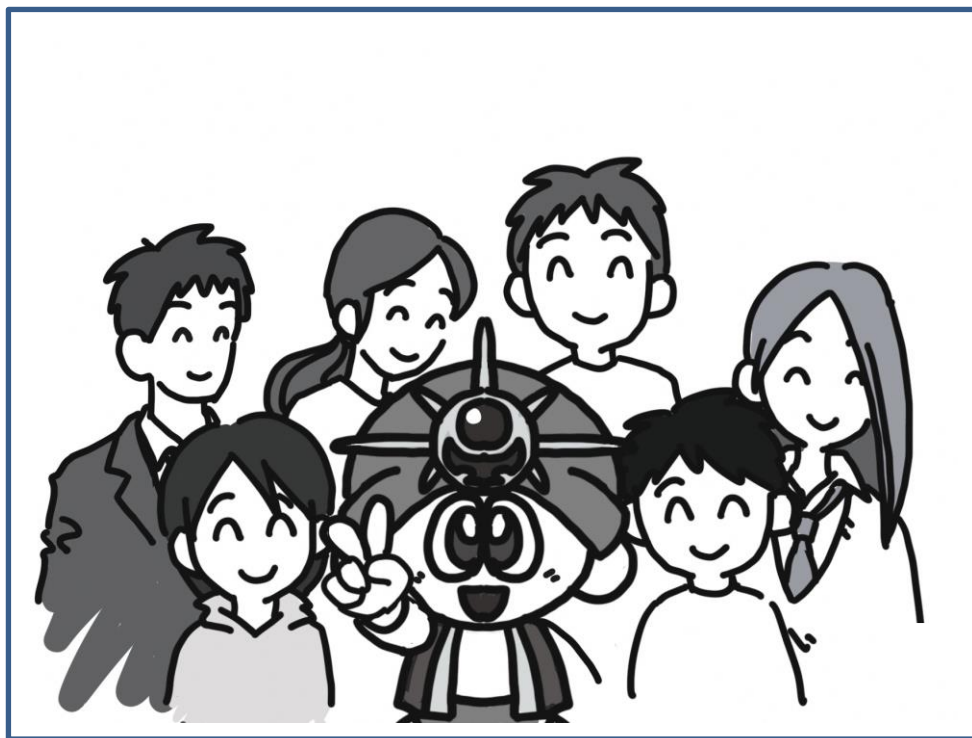


子ども青少年部児童青少年課

児童館の今後のあり方 基本方針

(素案)



目次

児童館運営の理念	P.3
1 -1 はじめに	P.3
-2 児童館とは何か	P.4
-3 児童館の変遷	P.5
-4 児童館運営のふりかえり	P.7
2 -1 多摩市の子育て施策における課題	P.7
-2 多摩市児童館の現状	P.8
-3 多摩市児童館の課題	P.10
3 -1 国の動向	P.12
-2 近隣市の状況	P.12
-3 小学生の放課後の居場所の変化と児童館	P.13
-4 地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の今後のあり方	P.14
-5 これからの多摩市の児童館(将来像)	P.14
-6 5年以内に目指す姿	P.17
4. 利用者(子ども、保護者)の意見	P.18
5. 児童館の可能性	P.19
6. おわりに	P.22
資料編	P.23

《多摩市立児童館運営の理念》

『児童館とは「遊び」を媒介として、人と人との触れ合いや交流の場を提供し、子どもの精神的・身体的な成長を支援していく施設である。』

※平成15年「児童館・学童クラブ運営検討委員会」決定

1- 1. はじめに(児童館の今後のあり方基本方針を考える背景)

児童館は、児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設のひとつで、児童に健全な遊びを与えて、この健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的としています。多摩市では同法第35条第3項の規定に基づき多摩市立児童館を設置し、児童の健全な育成を図ってきました。

多摩市が初の児童館として一ノ宮児童館を設置した昭和48年頃は日本全体の高度経済成長期にあたり、経済成長と並行するように昭和49年までの出生数200万人を超える第二次ベビーブームにありました。多摩市でも児童福祉施設の整備ニーズが高まったことから、これ以降に子どもの健全育成を担う場として、市内を10のコミュニティエリアに分け、10館の児童館を整備する方針に基づき、設置を進めてきました。

そこから50年を経た現在、状況は大きく変わりました。核家族中心の子育てに孤立を感じている人が増え、また自閉症や情緒障害を抱えた子どもが増える傾向もあります。少子化の進行も顕著になっていることから、児童館としては、『未来につながる分岐点』と捉え、多摩市の子どもや子育てをしている保護者を支援し、強く生きる力をもった子どもの育成にこれまで以上の力を発揮できるよう、児童館の事業や運営から施設の在り方まで、既成概念に捉われない思い切った再編や再配置を考えるため、児童館職員を中心とした本検討プロジェクトを立ち上げ検討しました。

多摩市立児童館は、多摩市第六次総合計画で掲げる「目指すまちの姿」のひとつ「子どもの成長をみんなで支え、ともに生きるまち」を実現していくための施策「子育て・子育てを育む地域づくり」において、子どもと保護者の居場所づくりのための施設として位置づけられています。また、児童館で取り組まれる事業は、多摩市子ども・子育て・若者プランにおいても、「子どもと親子の居場所づくりの推進」、「児童の健全育成」、「児童虐待の防止と早期発見・早期支援」、「地域コミュニティによる子育て支援の充実」といった施策を推進する事業と位置づけられています。

これらの計画で位置づけられた役割を果たしていくための児童館の道しるべとして、この方針を定めるものです。

1- 2. 児童館とは何か

大人の方には、小学生のための施設と思われがちですが、今の児童館は18歳以下のすべての子どもと保護者の方に開かれた、**多摩市の未来を育む館**です。

【児童館の良いところを5つに分類して紹介します】

①多摩市の児童館は、子どもの時間を大事にしています。

子どもが育つ中では、大人のモノサシでは測れない時間の過ごし方がたくさんあります。

子どもが夢中で穴を掘ったり、石を拾い集めたり、水の流れを見つめていたり、また何もしていない時間も、育つ過程の中で守られるべき子どもの「あそび」の時間として、運営の中で大切にしています。

「あそび」は運動能力、情緒、社会性、協調性が育まれるという教育的意義として語られますが、何気ない「あそび」そのものの自体が、子どもが子どもらしく生きて育つための基盤です。効率や節約で追われる「大人の時間」とは違う、子どもが自由にあそべる「子どもの時間」を守っていくことを私たちは運営の柱にしています。

②子どもが自分の意思で、気軽に行ける居場所です。

児童館は「あそび」を通し、誰でも入りやすくしていることで、地域の方々にも垣根を低くするようにして、多くの子どもや保護者を迎え入れています。

その運営の中で、利用者の変化や悩みに気づき、保護者の方と一緒に地域の活動等とつないでいくことで、地域ぐるみで子どもの育成環境をより良くしていく役割を担っています。

そんな多摩市の児童館の運営は、市の職員(児童厚生員)が責任を持って運営を行っています。

③大人の顔色を忖度しないで、自由に体験するから、そこから学び、子どもが強くなります。

児童館は、うれしい事も、わくわくする事もたくさんつまっている場所であることが大事だと考えています。

やってはいけないことには理由がありますが、そんなことも遊びを通して、子どもは学んで、生きていく力を養います。児童館では、四季折々の行事で地域の風土や慣習から学ぶこともできますし、実際に体験する事そのものが子どもの成長のきっかけになります。

子どもの興味の幅を拡げていく、仲間とともに挑戦していくなど、児童館だからできる健全育成があります。

④様々な年齢の子どもが、他者と関わり、大人の社会を模倣することで“社会的役割”を学んでいる場所です。

子どもの中にも社会があり、それぞれに必要とされる役割ができていきます。0から18歳までの子どもが、交じりあい、あそび、会話をする中で問題や課題を乗り越えていく姿があります。

ほんの少し、昨日までできなかったことを、乗り越えていく手助けをするのは、大人とは

限りません。

異年齢の子どもが手を伸ばし、先に進んでいく成長の姿を繰り返し見ている職員は、どうしたら次も子ども同士が触発され、新たな動機づけにつながるか考えて支援をしています。

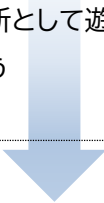
⑤地域の子どもを、地域の大人が育て、安全を守っていく場所です。

児童館職員だけでは、地域の子どもの育成を支援していくことはできません。児童館は地域の住民、学校、団体や医療機関などと、日常的に交流を重ね、目には見えないけれど確かな関係性によって、安心な子育て環境を作っています。

それは新たに児童館を利用する保護者も地域につないでいくネットワークづくりでもあります。

多摩市の宝でもある子どもや保護者を取り巻く環境は育児の孤立、価値観の多様化、経済の格差など課題は膨らんでいるようにも見えますが、それでも児童館は、子どもを犯罪などから守り、地域の防犯や災害に対しても安全な居場所であることはもちろん、子どもや保護者が安心感を得られる、精神的なよりどころでありたいと努めています。

1-3. 児童館の変遷

年代	出来事	妊娠期～6 歳	小学生	中高生
1973(S48)	多摩市立児童館 条例を制定、多摩 市初、一ノ宮児童 館が開館		主に小学生の居 場所として遊育を 行う	
(19 年間)				
1992(H4)		幼児の時間として の事業を開始		
1994(H6)	日本は「子どもの権利条約」を批准 子育てを夫婦や家庭だけの問題ととらえるのではなく、 <u>社会全体で子育てを支援</u> していくことを狙いとして、取り組むべき基本的方向と重点施策を定めた計画と して「エンゼルプラン」を発表			
1997(H9)				中高生の事業を充 実
1999(H11)		児童館の運営時間を午後 6 時まで延長		
2001(H13)		0歳児の時間を開 始		
2004(H16)		子ども家庭支援セ ンター開所		
2007(H19)	地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進す る目的で「放課後子どもプラン」を文部科学省と厚生労働省が策定			

年代	出来事	妊娠期～6 歳	小学生	中高生
2011(H23)	東日本大震災			一ノ宮、唐木田児童館を中高生重点対応館として 19 時まで時間延長
2014(H24)			ランドセル来館を諏訪児童館から開始	
2013(H25)	公共施設の見直し方針と行動プログラムを策定	豊ヶ丘、東寺方、桜ヶ丘児童館の廃止案を含むプログラムは、市民、議会との議論の中で変遷してきた。		
2014(H26)	乳幼児対象の「子育て支援」という呼び方に対し、これまでの児童館事業を「子育て支援」と整理した			永山児童館も中高生重点対応館となる
2015(H27)	年金・医療・介護に加え、子ども・子育てを社会保障の第 4 の経費とし、「子ども・子育て支援新制度」(子ども・子育て支援3法)を施行。			
2015(H27)		一ノ宮、永山、唐木田児童館が地域子育て支援拠点となる		
2016(H28)		一ノ宮、永山、唐木田児童館で日曜開館実施		
		諏訪、落合児童館も地域子育て支援拠点となる	宿泊体験行事(各館キャンプ、合同キャンプ)を休止	
2018(H30)		桜ヶ丘児童館で地域子育て支援拠点(連携型)を開始		
2019(H31)		連光寺児童館も地域子育て支援拠点となる		
2020(R2)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 3 月から 5 月まで全館休館			
2021(R3)			児童館直接来館を開始	

1-4. これまでの児童館運営をふりかえって

児童館はすべての子どもたちが自由に利用できる施設です。

そのため「児童館へ行きたい」と自発的に思い、たくさん子どもたちに選ばれるような魅力あふれる施設でなければいけないと考えます。

しかしながら、いじめや不登校、児童虐待等、子どもを取り巻く多様な問題が年を追うごとに増加しています。

参考:小中学校における不登校児の割合 平成4年度0.52%→令和4年度3.17%

児童相談所における虐待検知数 平成4年度1,372件→令和4年度207,660件
児童館では子どもや保護者の声を聴き、寄り添いながら、使命感をもってひとつひとつの要請に応え続けています。

そのような中で、困難に直面しているケースに着目するあまり、子どもたちがわくわくしながら夢中で遊びを展開できるように環境を整え、その過程をサポートし、一人ひとりの子どもの成長・発達を促す、というかつての児童館が主としていた機能が弱くなってしまいました。

児童館はその時代時代の行政需要や地域社会の要請に応えていくために、少しずついろいろな役割を背負ってきました。それに伴い、かつて児童館が運営の最も基本と考えていた地域のすべての子どもを対象にした健全育成としての本分も、少しずつ弱まってしまったと考えます。

2-1. 多摩市の子育て施策における課題

①全国的に少子化が加速し、その要因も複合的になっています。多摩市においても例外ではなく、なしうる子育て支援策を迅速に行う必要があります。

②多様化する子育てに関する市民ニーズの背景にある具体の変化を例示すると、少子化が進んでいること以外にも、自閉症、情緒障害の児童・生徒数が年々増加傾向にあることや、児童相談所の児童虐待相談対応件数が増加していること、保護者の経済的な事情の変化の中で、格差の広がりなどが挙げられます。

こうしたことは、子どもの友達との遊び方の変化につながることや、保護者と過ごす時間、過ごし方にも影響していると考えられ、子育ての中でも様々な要因による多様化、複雑化が進んでいます。

行政にはこうした変化を踏まえて、市民ニーズに応えた子育てに関する施策展開がなされ、安心して子育てできる環境提供の期待が高まっていると感じています。

③市のシティセールスとしても、多摩市の子育て環境が優れていることを市内外に発信することで、多くの子どもとその家族が多摩市で暮らし、子を育む事を望むような街づくりに資する必要があります。

2-2. 多摩市児童館の現状

(1) 配置について

多摩市では、昭和48年に一ノ宮児童館が開設されて以来、昭和57年までの間、ほぼ毎年のように児童館が整備され7館体制となり、その後も平成23年までに3館を加えて、合計10館となっています。この10館のうち9館が小地域を対象とした『小型児童館』(*)であり、『児童センター』(*)として位置付けられた唐木田児童館を含めて、児童館の近隣地域の方々が利用しやすいように、市内全域に点在する形で設置されています。

*小型児童館、児童センター

平成2年8月7日に当時の厚生省が発出した通知(児発第123号厚生事務次官通知、第967号厚生省児童家庭局通知)「児童館の設置運営について」において、機能や特徴により区分された児童館の種別。

小型児童館は面積が217.6㎡以上で、児童に遊びを与え、健康を促進し情操を豊かにする等の機能を備えた施設。児童センターは更に面積が336.6㎡以上で、体力増進指導機能も備えた施設。

■中学校区で見る児童館の配置

● ……児童館



(2)事業内容について

多摩市の児童館は 18 歳までの児童を対象者とするだけでなく、妊娠中の方や児童の保護者、地域に居住する多くの市民、学校を含む公的機関・地域団体等の関係機関を事業の対象としています。事業の拡大とともに、事業対象者の範囲を広げてきた児童館は「関わり
の連続性」をつくり、地域からの信頼を獲得し、関係構築も進めてきています。

①子育て支援事業

(事業内容)

子育てを主に担う保護者に対して、楽しく子育てができるよう、子育ての負担軽減と孤立化の予防を目的に、子育て情報や「保護者の交流の場」を提供しています。また、児童館が気軽に相談できる場所として、保護者との会話の中から困り事を探り出し、必要に応じて専門機関につなげるパイプ役も担っています。

(対象者)

主に乳幼児・保護者

(具体的な取組例)

乳児のつどい、幼児のつどい、子ども家庭支援センター出張、親子フィットネス



②子育て支援事業

(事業内容)

子どもたちに遊びを通して、「体験をできる場」「意見表明できる場」「安心して過ごせる場」を提供する事で、子どもたちの主体性や自主性を尊重しつつ、子どもたちの心身の発達を支援します。また、「児童虐待」や「子どもの貧困」など、子どもを取り巻く環境は以前にも増して厳しくなっていますが、児童館は家庭状況に左右される事なく、誰もが安心して利用でき、子ども自身の意思で様々な行事に参加し経験できる数少ない「場」です。

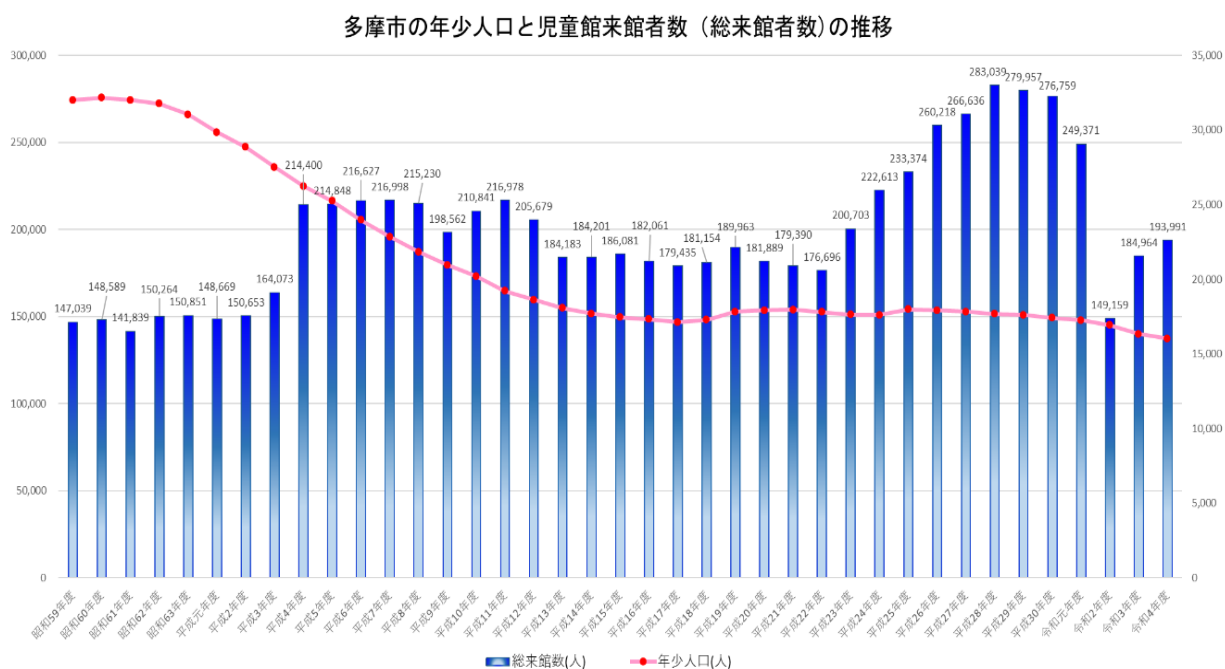
(対象者)

18 歳以下の児童

(具体的な取組例)

工作・制作行事、レクリエーション行事から地区の他団体との協働も含むイベントなど、直接来館事業、中高生重点対応館、日曜開館、ボランティア育成活動

このように多摩市の児童館は事業の拡大とともに、事業対象者の範囲を広げてきました。下のグラフの通り、年少人口は減少しているにもかかわらず、平成 28 年度までは、児童館来館者数は増加傾向でした。令和 2 年度には新型コロナウイルス感染症拡大の影響で来館者数が大きく減少したものの、それ以後は回復傾向にあります。それは児童館にニーズがあり、それに応えてきた結果だと考えられます。



2-3. 多摩市児童館の課題

多摩市の児童館は利用者のニーズに応え続けてきましたが、課題もあります。

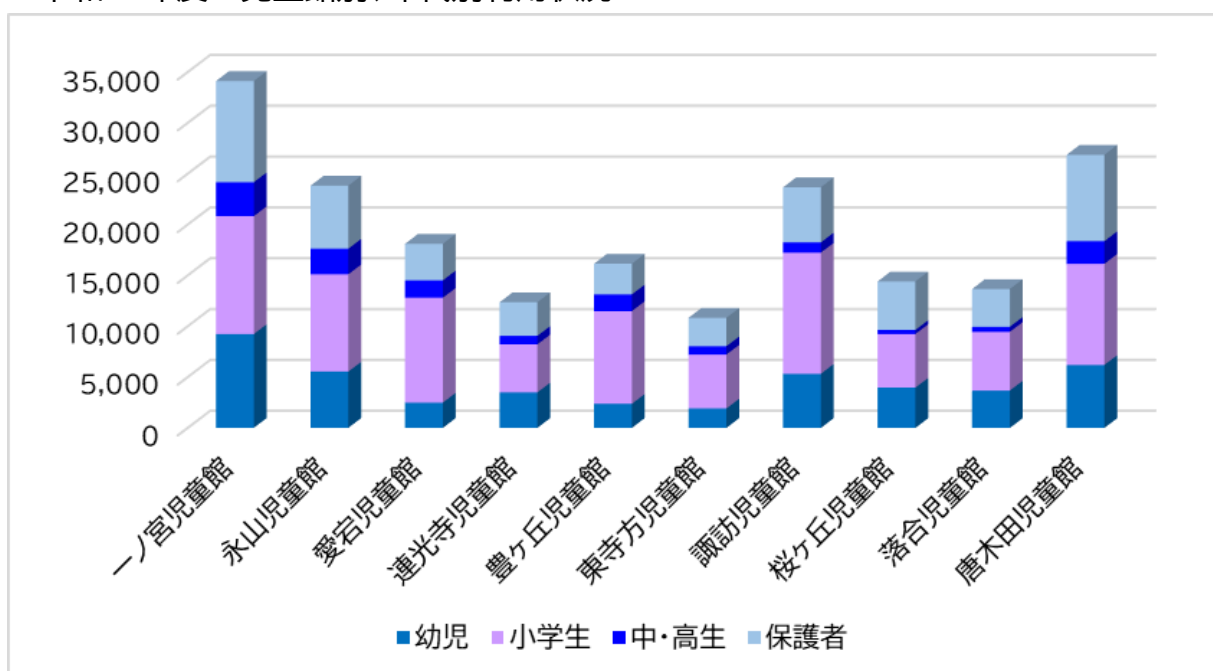
- ①幅広く事業を展開した事、事業対象者の範囲を広げてきた事で児童館来館者が増加したという成果は得られた一方で、全館が類似した事業を定期的に行っており、多摩市児童館各館の特色が無くなりました。
- ②各種行事を行うためには、企画、役割分担、調達、進行管理や交渉などのノウハウが必要になりますが、職員の新陳代謝により経験の浅い職員が増え、ノウハウの継承が難しい状況があります。そのため、サポートできる体制も必要です。
また、ノウハウは継承するだけでなく、これまで築き上げてきた基盤をベースに常に改善し、経験を積み上げて創っていく必要があります。行事だけでなく来館者や地域との関係性の構築についても同様です。
- ③児童館が市内全域に点在する形で設置されていますが、地域によっては起伏のある坂道や交通量の多い主要道路が走っている等、距離だけでは測れない通いやすさの差があります。また子育て世代の住み替えが多くある団地やマンション等、大型の住宅が整備・建

設された時期も地区で異なるため、児童館の需要変化にも大きな影響があると考えられます。

④10館の児童館が「地域子育て支援拠点事業」の展開の有無に関わらず、乳幼児専用スペースを設けました。児童館を建設した時期には想定していなかった空間や機能を創ったことで、小学生以上にとってはそれまで利用できたスペースが極端に狭くなってしまい、年齢に応じた活動が存分にできなくなった面も有ります。

⑤中高生が有りのままの自分でいられ、自己表現が自由に出来るようにするためには、年少児童に気兼ねすることなく過ごせ、受け止めてくれる大人がいる居場所が必要であり、そこに中高生の多様なニーズに応えられるような施設・設備が備えられていることが望ましいと考えますが、既存の児童館ではこれらに応える事は難しい現実があります。グラフの通り中高生の児童館利用は他の年代に比べ非常に少ない状況です。多感で興味も多岐に渡る中高生にとって魅力ある施設にしていかなければ選ばれる児童館にはなりません。また、部活動などにより時間的な制約もあるため選ばれるためにはより一層魅力ある施設にしていかなければなりません。

■令和4年度の児童館別、年代別利用状況



3-1. 国の動向(社会保障審議会児童部会放課後児童対策に関する専門委員会 とりまとめ)

令和5年3月子ども家庭庁公表の社会保障審議会児童部会放課後児童対策に関する専門委員会とりまとめの中で今後の児童館のあり方が示されました。その中で、中高生世代の活動・支援の場として期待されている中、中高生世代が居場所として実感できるような取組、そのための人員体制が必要であることやすべての児童館が果たすべき基本的機能・役割と発展的な機能・役割とを整理し、児童館の種別を基本型、機能強化型など類型で再編することが課題として挙げられています。

3-2. 近隣市の状況

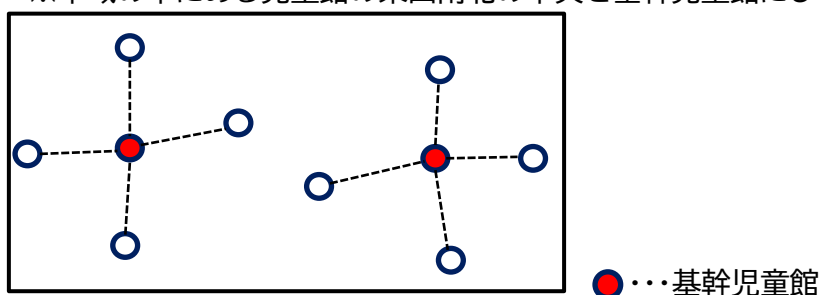
近隣市では、児童館を各地域で均質に提供する形から、基幹的な役割を持つ児童館、地域に根差した身近な児童館と役割分担をさせる方向や、委託や指定管理としている自治体が多くなっています。また地域のコミュニティ施設内に併設するなど、児童館機能を置く運営もあります。

一方、多摩市は0歳から10歳までの子どもの数約千人に対し1つの児童館が地域に在り、専門性を持った市職員が運営を担うことで、利用者も各館平均約2万人と多く、今まで児童福祉、地域福祉の向上に取り組んできました。近隣市の動向も把握しつつ、子どもまん中社会の実現に向けて、市全体での児童館の魅力を高める方向へシフトさせていく考えです。

①調布市

各館が同一の位置づけを持ちながら、均質のサービスを提供してきたものを見直し、児童館・学童クラブ・子育てひろばの機能に加えて、対象地域内の学童クラブ、放課後子ども教室の活動支援など連絡調整機能を有する地域児童館、中高生世代支援に特化した中高生専門館、地域児童館、これらを総合的に支えるセンター機能型児童館を1館設置しています。

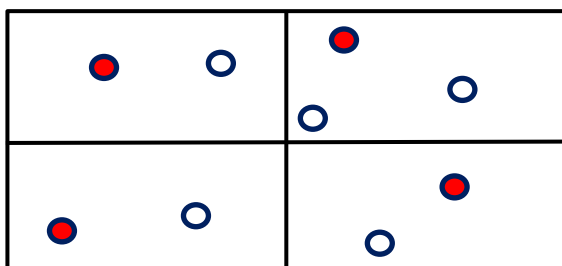
※市域の中にある児童館の東西南北の中央を基幹児童館にしていくイメージ



②日野市

令和6年度までの児童館5か年計画において、市内を4エリアに分け、各エリアに基幹となる児童館(基幹型児童館)を1館設置し、それ以外の児童館(地域型児童館)をコーディネートする運営形態を提示し、将来的には4つの基幹型児童館を中心に地域型児童館や学童クラブを運営していく計画を示しています。

※市域を4つに分け、その中に1つ基幹児童館を置くイメージ



③町田市

基幹型施設である5つの子どもセンター(大型児童センターの町田市呼称)の整備が完了。分館と子どもクラブ(小型児童館の町田市呼称)はそれ以外の中学校区単位で配置を進めています。

子どもセンターは中長期的には周辺の公共施設の更新時期を捉えて複合化し、単独での建物の建替えは行いません。

今後の年少人口の減少を踏まえて、整備費用やその後の維持管理費用が少ない手法や建物の可変性等の工夫を検討しています。

3-3. 小学生の放課後の居場所の変化と児童館

「学童クラブ、放課後子ども教室と児童館の関係」

共働き等の世帯が増えたことに伴う需要に沿って、市内の各所に学童クラブを設置していた頃の保護者の要望は、子どもに学校とは別の場所で、放課後を過ごせる場所として、学童クラブを設置してほしいという声であり、こうした声を反映した整備を進めてきました。

また児童館は、中学校区ぐらいの通いやすい範囲に整備し、子どもと保護者が気軽に立ち寄り、地域の中で交流しながら一緒に過ごせるようにしてきました。

学童クラブ事業を多摩市で開始してから約50年、今は保護者がより安心できる、子どもが通う小学校内に学童保育施設が設置、運営されることを望む声が高まったことで、整備の方針も変わり、学校施設・敷地内で学童保育と放課後子どもの教室の展開が進んでいます。

今後もさらに学童クラブの校内化が進み、同時に放課後子ども教室の週5日実施が実現していくと、小学生にとっての児童館に求める役割や需要が変化していくと考えます。

これまで行ってきた「異年齢の子ども同士の交流」、「虐待ケースの発見、対応」、「子どもの地域活動への参画支援」、「不登校児や配慮の必要な子どもへの対応」、「子ども・子育てに関する情報の収集と提供」等の児童館の機能、役割とは別に、変化として児童館が重点を置いていくのは、次の①から④を想定しています。

- ①放課後子ども教室や学童クラブでは実施が難しい独自の事業展開や、児童の健全育成に資するあそび事業の企画、実施(例 調理体験、クラフト、スポーツ、自然体験、キャンプなど)

②中高生の放課後の居場所としての運営

③学童クラブ、放課後子ども教室の運営支援、管理・指導、職員の研修機会を設けての育成

④地域の子育てに関係する団体、地域住民等と交流・連携し、子育て環境の向上につながる業務

児童館では、多摩市の自然の豊かさや、地域独自の文化、交通アクセスの良さなど利点を生かして、子どもが育つ時間を豊かにしていきます。それぞれの事業の特性を生かして、分担させていくことで、多摩市の子育て環境も充実し、子どもを産み、育てたい人に選ばれる自治体を目指す動きの1つとして進めていきます。

	児童館	学童クラブ	放課後子ども教室
対象	0歳から18歳の子どもと保護者	保護者が就労等の理由により、放課後に家庭での養育ができない原則1年～4年の小学生を対象	すべての小学生を対象
役割	子どもが自らの意思で利用でき、自由に遊んだりくつろいだり、年齢の異なる子ども同士と一緒に過ごすことができる、地域の子どものための館	適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの遊び及び生活を支援することを通して、その子どもの健全育成を図ることを目的とする事業	同じ学校の子どもの同士の遊び、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供

3-4. 地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の今後のあり方

専用のひろばを設置する地域子育て支援拠点事業、専任の子育てマネージャーによる子育て相談等を実施する利用者支援事業について、現在、児童館7館において両事業を実施しています。

この両事業の今後のあり方について、エリアによっては保育所や幼稚園等が担える可能性があり、同事業を担っている児童館の今後のあり方にも影響します。両事業については、児童館のほか、市内公共施設でも実施していますが、市内保育所・幼稚園など子育て支援を担う社会的な地域施設と連携しながら事業展開をすることについて、子ども青少年部で検討中です。児童館のあり方にも影響することから、国の動向も踏まえ、引き続き検討を進めていきます。

3-5. これからの多摩市の児童館(将来像)

将来の児童館に求められる役割を考えると、多摩市でもこれまでの既成概念に捉われず、それぞれの児童館の立地状況(例えば学校からの距離、地域内の他の公共施設配置、坂などの勾配や幹線道路の有無による子どもの通い易さ等)を踏まえ、特長を生かしていく児童館配置が必要です。

小学生の放課後の居場所に対する需要が変化(小学校内の施設・事業を希望)する中での

児童館に求められる役割を考えていくこと、他方で地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業のあり方が検討されている中では、将来的に今後の児童館像として以下の4種を想定していきます。

(1) 基幹となる児童館

- ・利用対象者は 0～18 歳
- ・利用者がアクセスしやすい駅近くに配置し、児童館事業に加え、専用のひろばの設置や専任の子育てマネージャーによる子育て相談等の事業を実施
- ・地域の児童館の支援、児童館に通いにくい地域を中心とした各所での移動児童館展開による館にとられない運営を行う



- ①エリアの中心となり、地域の児童館へのサポートによる技術支援が可能
- ②所在する児童館に通いにくい地域への移動児童館を行い、館にとられない事業展開により、通いにくい利用者へ事業を届けることが可能
- ③公園等広いスペースで頻度高く移動児童館を展開することにより、利用者がのびのびと過せる事業展開が可能



(2) 地域の児童館

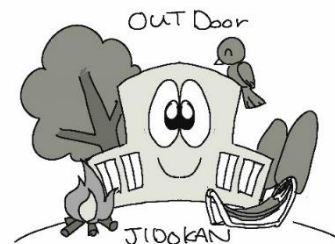
- ・利用対象者は 0～18 歳
- ・身近な地域に対する児童館事業を実施



- ①引き続き身近な地域での児童館事業を展開
- ②年少人口の動態に応じ、コンパクトな児童館事業の展開が可能
- ③地域特性、子どもの特性に応じた催しの実施強化が可能

(3)アウトドア特化館

- ・基幹となる児童館の役割を担うだけでなく、野外活動、自然活動などアウトドアに特化した児童館



- ①思いっきり野外活動ができ、自然を通した感受性の育成、体力の向上もはかれる特色のある新しい児童館の創造
- ②子どもだけでも家族全員でも楽しめる特色ある新しい児童館の創造
- ③野外活動を存分に楽しんだ思い出が多摩市への愛着につながり、次世代の地域の担い手育成にもつながる



(4)中高生専門館

- ・利用対象者は中高生(13～18 歳)
- ・設備も事業運営も中高生対応に特化した館



- ①現状施設では難しい中高生対応に特化した事業展開が可能
- ②次世代の地域の担い手としてキーポイントである中高生世代を引き寄せ、現状の児童館では体験できない運動や文化活動を思春期に経験できる特色ある児童館の創出
- ③②の活動を通じ、中高生がいろいろな経験を通して、自分の特技を見出すことをきっかけに将来への希望、活力、今後の人生に有用な自己肯定感を得られ、同世代の仲間と楽しい時間を共有することによる思い出が多摩市への愛着心につながり、次世代の地域の担い手育成につながる

なお、今後の人口動向や時代のニーズへの適合性、他事業の動向を勘案しながら、具体的年次等進め方については検討していきます。



3-6. 5年以内に目指す姿

以上の将来像のうち、5年以内を目途とした実現を目指す構想について記します。

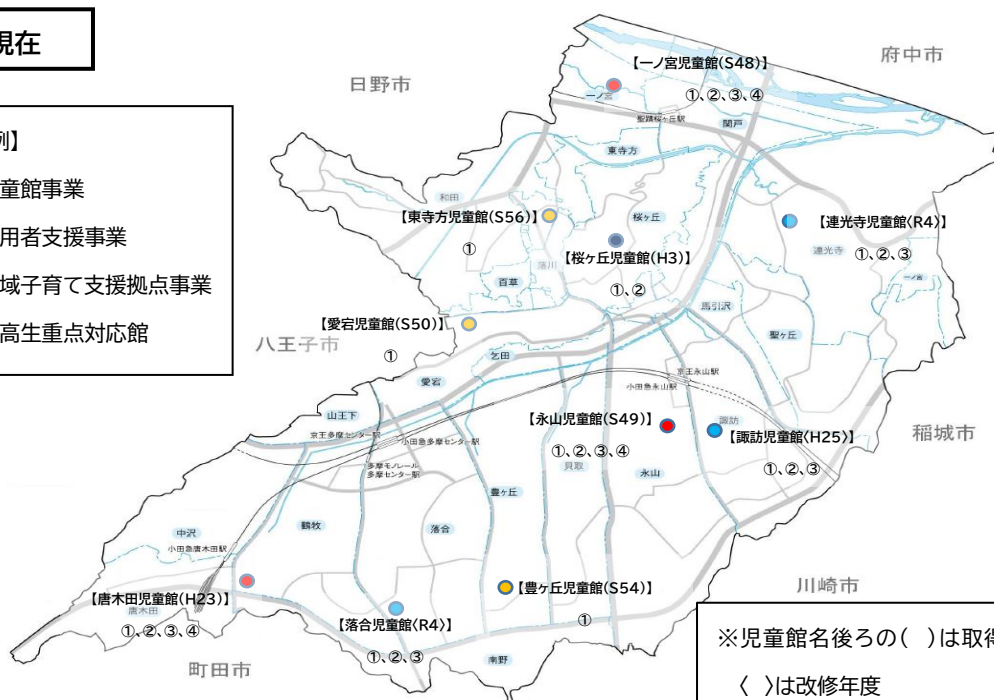
なお、構想については、次の点を整備した上での移行を考慮しています。

- ①改修工事時の代替施設の扱い
- ②他館へ統合する場合、小学生の放課後の居場所として、放課後子ども教室を週5日実施します。
- ③統合後、統合前エリアでの移動児童館を展開することで居場所や催事を継続して提供します。

現在

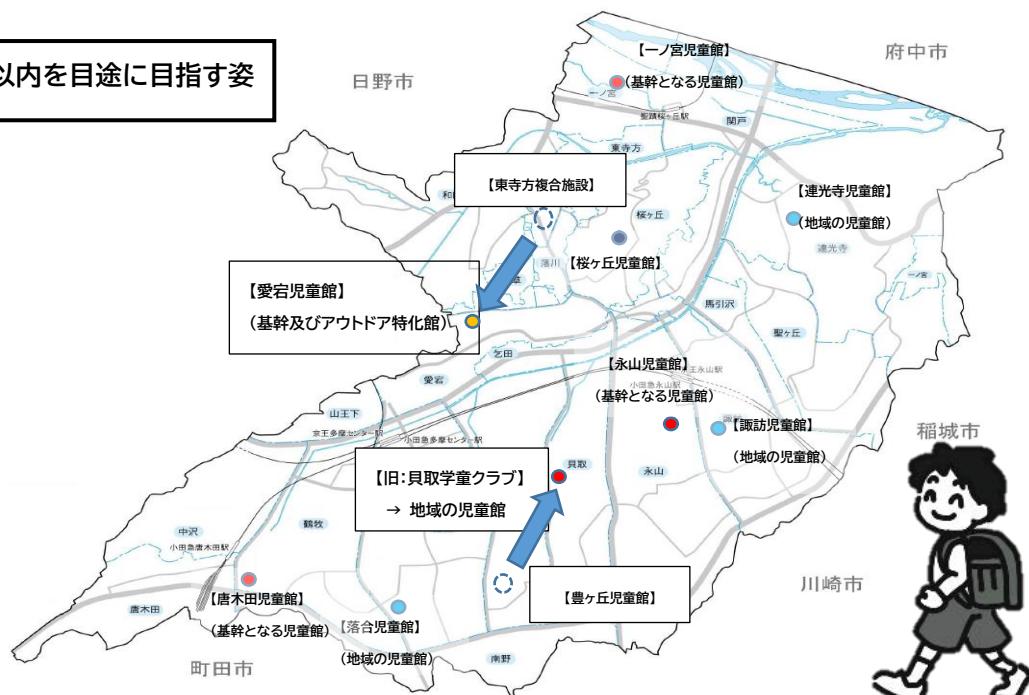
【凡例】

- ①児童館事業
- ②利用者支援事業
- ③地域子育て支援拠点事業
- ④中高生重点対応館

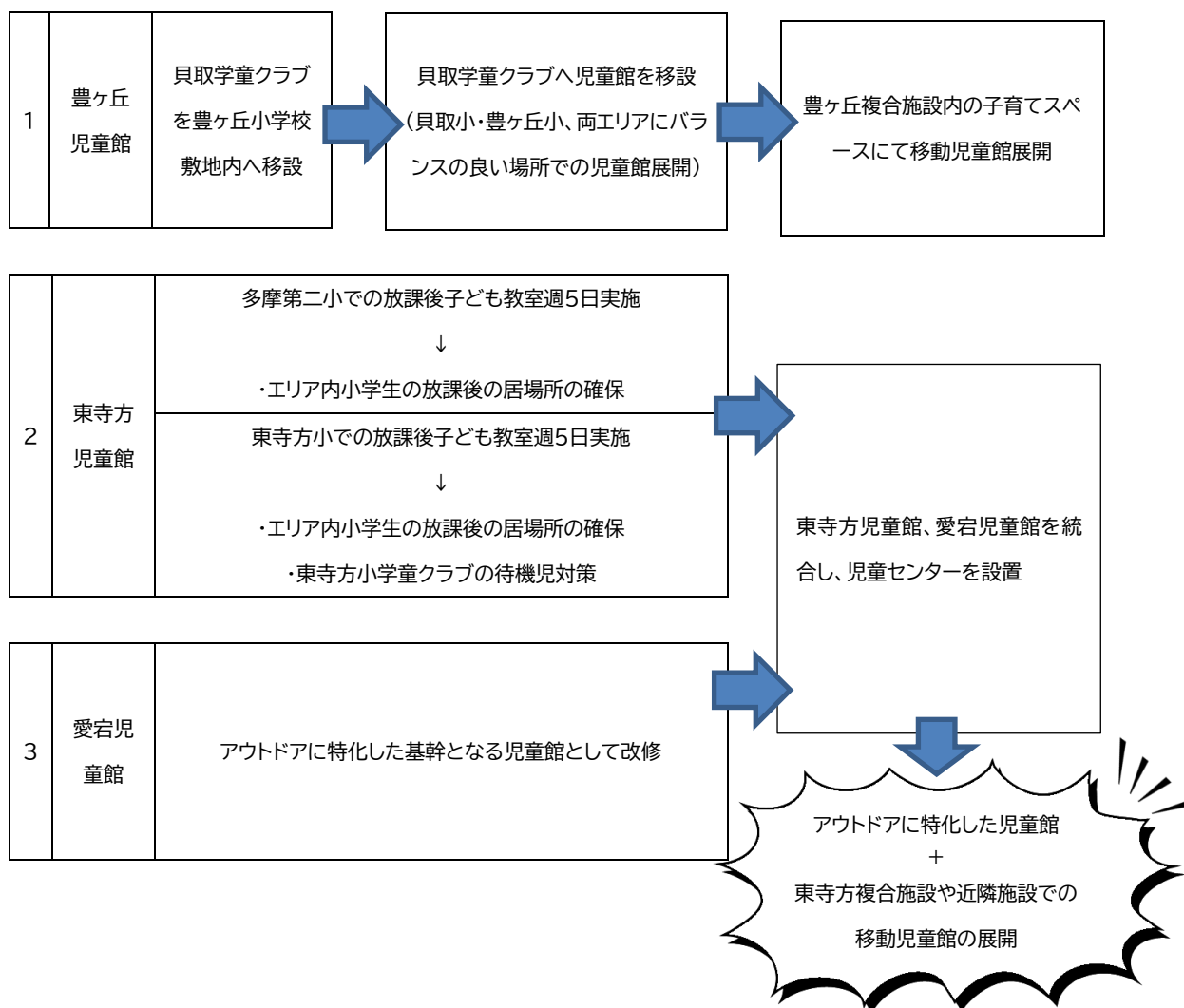


※児童館名後ろの()は取得年度、
< >は改修年度

5年以内を目途に目指す姿



5年以内に目指す姿 ロードマップ(案)



4. 利用者(子ども、保護者)の意見

令和5年6月から令和6年1月にかけて市内各所で実施した児童館50周年記念展示「ありがとう～つながる50年と未来の子どもたちへ～」の展示会場に設置したアンケートに寄せられた市民の感想からは、児童館があったからこそ子どもが育つことができたと考えていること、そして、これからもそのよう役割を児童館に期待していることがうかがえます。
(資料編「児童館50周年記念展示アンケート」参照)

5. 児童館の可能性

50年の歩みの中で

「子どもの安全な遊び場」として多摩市に児童館が誕生してから 50 年。高度経済成長期からのめまぐるしい社会変化の中で、遊びを通した児童の健全育成のみならず、行政課題や地域社会の要請に応えるべく次々と様々な事業を積み上げてきました。その間も、目の前にいる子どもたちや保護者の皆さんに寄り添うとともに、いかにして地域の皆さんの信頼を勝ち取るか、そしてまだ児童館を利用したことのない方々に児童館に来ていただくにはどのようにすれば良いのかと考え、試行錯誤を繰り返してきました。

その結果、多摩市の児童館は利用者や地域の皆さん、関係機関の皆さんから一定以上の評価を得ていると考えています。そのことが垣間見えるエピソードをご紹介します。

(1) 安心できる居場所の提供

- ・『家の鍵を忘れた小中学生が児童館に助けを求めてやって来て、保護者と連絡を取ることはよくあること。児童館を利用したことのない友だちが鍵を忘れた際に「困ったことがあったら児童館に行けばいいんだよ」と言いながら、児童館を利用している子がその友だちを連れてくるということもあった。』
- ・『公園で遊んでいる際に骨が露出するような大けがを負った子どもが「児童館に行けば何とかしてもらえる」と考えて児童館に駆け込み、職員がすぐに受け入れ可能な病院を探して連れて行った。』

(2) 子どもたちが興味を持ち、才能を伸ばすきっかけづくり

- ・『児童館で卓球を始めたことで打ち込むものが見つかり、全寮制の卓球強豪校に進学。インターハイにも出場し、現在は主将として活躍している。帰省時には児童館に顔を見せてくれた。』
- ・『小学生がコマに興味を持ち、毎日取り組むようになる。かなり上達した頃に学校のクラスでコマの技を披露することになり、クラスメイトから拍手喝さいを浴びる。保護者によると「これまで自信を持てるものがなかったが、クラスみんなに認められたことで自信が付いた。」とのことであった。』

(3) 課題を抱えた子どもへの継続的なサポート

- ・『感情のコントロールがうまく出来ず、怒って暴れることが多い子が、児童館で卓球に興味を持ち毎日練習をするようになる。はじめのうちは感情のコントロールがうまくいかず職員と卓球をしていたが、次第に他の利用者とも出来るようになる。中学校入学と同時に卓球部に入部し、たまに児童館で卓球をするときには、小学校低学年児童にも優しく丁寧に接してくれるようになった。』
- ・『小学生から児童館に来ていたが、中学生になって不登校となり、カウンセリングに行く日には、児童館で過ごしてから行くことが多かった。中学卒業後の進路を職員と一緒に調べ専門学校に行くことになったが、「卒業式だけは出たい」と職員に相談し、児童館で合唱の練習をし、卒業式に出席した。』

(4)子育てに不安を持つ保護者へのサポート

『児童館の目の前の道路で、泣いている子どもをあやしている父親がいることに気付いた職員が声をかけた。「母親が子育てに悩み気持ちが落ち込んでいるので、自分が子どもを連れて外に出たのだが、子どもに泣かれて困っていた。」との事だったので健康センターと連携して対応した。その後児童館を利用するようになり、母親が復職した後も時々児童館に顔を出していたが、職員と話をしていた子育てに悩んでいる様子の母親を見掛け、自身の体験を話してくれた。』



(5)社会とつながるきっかけの提供

『児童館を利用していた子が19歳になって久々に児童館に顔を出す。高校を卒業してから何もしていなかったようで、「何かしないと」と言う気持ちはあったが、自分でうまく動き出せていなかったようで、ボランティア登録をして手伝いをするようになる。児童館でボランティアをするうちに人と関わるのが上手くなり、障害福祉施設へ就職した。「子どもの時にいつも児童館に来ては、職員に迷惑をかけたと今になってわかるようになった。その経験もあるから、人のためになる仕事がしたい」と言う気持ちを持った』

『児童館でのボランティア活動の経験を通して学生が自信を持ち、就職活動でも役に立っていると在籍している大学の教授から話があった。』

『学生時代に児童館でボランティアを経験した人や、児童館を利用していた子が、多摩市役所に入庁している。』

(6)地域での活動の場を提供

『地域で「誰でも食堂」を運営している団体から、「子どもたちにも利用してもらえるような食堂を開催したい」と相談され、児童館の工作室を会場として提供することにした。毎回たくさんの参加者が来る恒例行事となり、地域の方々の交流の場にもなっている。』

これらのエピソードから、児童館やそこにいる職員の存在が子どもたちや保護者にとって、日常の中での安心材料となっていることが伺えます。身近な場所にいつも利用している児童館があったからこそこのエピソードだと思います。

児童館の職員は、利用者との日常的な何げないやりとりを大切にしています。「子どもの言っている事だから」などと軽く捉えずに、常日頃からその思いに耳を傾けることで、幅広い年代の子どもたちから信頼され、繋がりが続けることが出来ると考えています。この姿勢こそが、世代を超えて利用者と継続的に関わるという児童館の強みを体現する源となっています。これは子どもに限ったことではなく、保護者や地域の皆さんとの関係についても言えることで、そういった地道な活動を継続してきたことで、子どもや保護者と地域社会を結び

付ける役割も果たして来られたのだと思います。

また、最近では子どもたちが児童館に対して感じる様々な思いや意見を受け止め、子どもたちの声を児童館の運営に反映させることも求められており、「傾聴」の姿勢は児童館職員の基本となっています。

今後の児童館の可能性

上記のエピソードだけでなく、特に平成 23 年度からコロナ前までの来館者数の増加からも、今日までの児童館運営は多摩市の子育て施策としての役割を十分果たしてきていると考えています。

これからの児童館は、これまで果たしてきた役割の一部を放課後子ども教室等他事業に移行し、移動児童館等のアウトリーチ事業にも力を注ぎ、館に捉われない柔軟な事業を展開するとともに、多摩市の子どもたちや保護者の皆さんにこれまで以上に充実した日々を過ごしていただけるよう、新たに前進します。

それは、「外遊びやアウトドアに特化した児童館」や「中高生専用の児童館」といったこれまでの児童館に無いような特色を持たせた児童館を作ることです。

「外遊びやアウトドアに特化した児童館」は、木々に囲まれた環境で泥だらけになって、子どもたちがのびのびと遊べるような児童館を目指しています。その中で、火起こし体験やキャンプ道具の使用なども出来るようにして、親子でも楽しめるような体験を提供します。



「中高生専用の児童館」は、思春期で多感な中高生が年少世代に気兼ねすることなく利用でき、ダンスやバンド活動などの多岐に渡る幅広い需要に応えられ中高生が魅力を感じる事業を展開する児童館を目指します。また、社会への入口のひとつとなるよう、中高生世代に児童館の運営に積極的に関与してもらいたいと考えています。



ただし、誰もが気軽に集えるという児童館の基本となる部分は守り続けていき、異年齢や異なる所属(学校)の子どもたちが一緒に活動出来るといった他のどの施設にもない児童館ならではの良さをなくさないようにしなくてはならないと考えています。

6. 終わりに

『私には、苦しい時に頼れる「第二の家」があります。そこは、いつも明るく私をむかえてくれて、いやしてくれます。私にとって第二の家は児童館です。小さい時から今までずっとお世話になっています。皆さんも苦しい時は一人でかかえこまず、誰かに相談できることを願っています』

これは、幼児の頃からずっと継続的に児童館を利用してきた高校生が「児童虐待防止啓発推進月間」の展示用に使ってくれたメッセージです。

中高生の居場所づくりの際によく「サードプレイス」という言葉が出てきますが、「家庭でも学校でもない場所」ということなのでしょう。「第二の家」というのはそれよりも更に身近なかけがえのない存在として捉えてもらえている証だと受け止めており、とても嬉しく、ありがたい言葉だと思っています。

これからの多摩市の児童館は、機能や役割は変わっても、子どもたちからこのようなことを言ってもらえる、このように感じてもらえる児童館であり続けたいと考えています。



資 料 編

1 多摩市立児童館条例

2 施設の概要

- (1) 開館日及び開館時間、休館日
- (2) 各施設規模
- (3) 核児童館の特徴

3. 18歳未満人口と児童館の利用状況

- (1) 多摩市の18歳未満人口の推移
- (2) 令和4年度の児童館別、年代別利用状況
- (3) 令和4年度 児童館別登録者数

4 児童館50周年記念展示アンケート

- (1) 聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター
- (2) グリナード永山
- (3) ココリア多摩センター

1 多摩市立児童館条例

昭和48年 3月30日 条例第17号

多摩市立児童館条例

(設置)

第1条 児童の健全な育成を図るため、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第35条第3項の規定により、多摩市立児童館（以下「児童館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 児童館の名称及び位置は、別表のとおりとする。

(職員)

第3条 児童館に館長、児童厚生員その他必要な職員を置く。

(使用及び使用料)

第4条 児童館は、一般の児童に公開する。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

2 児童館の使用料は、無料とする。

(休館日)

第5条 児童館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要と認めるときはこれを変更することができる。

(1) 日曜日（別表日曜開館日の欄に規定する日を除く。）

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 12月29日から翌年の1月3日まで

2 前項に規定する日のほか、多摩市立桜ヶ丘児童館にあつては毎月第1及び第3月曜日を、多摩市立唐木田児童館にあつては毎月第2及び第4月曜日を休館日とする。

(開館時間)

第6条 児童館の開館時間は、別表のとおりとする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(委任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

別表（第2条、第6条関係）

名称	位置	日曜開館日	開館時間
多摩市立一ノ宮児童館	多摩市一ノ宮一丁目18番地7	第2及び第4日曜日	午前9時から 午後7時まで
多摩市立永山児童館	多摩市永山三丁目6番地	第2及び第4日曜日	午前9時から 午後7時まで
多摩市立愛宕児童館	多摩市愛宕一丁目65番地3		午前10時から 午後6時まで
多摩市立連光寺児童館	多摩市連光寺三丁目57番地1		午前9時から 午後6時まで

多摩市立豊ヶ丘児童館	多摩市豊ヶ丘五丁目 6 番地		午前10時から 午後 6 時まで
多摩市立東寺方児童館	多摩市東寺方626番地 7		午前10時から 午後 6 時まで
多摩市立諏訪児童館	多摩市諏訪二丁目 8 番地		午前 9 時から 午後 6 時まで
多摩市立桜ヶ丘児童館	多摩市桜ヶ丘一丁目17番地 7		午前10時から 午後 6 時まで
多摩市立落合児童館	多摩市落合六丁目 5 番地		午前 9 時から 午後 6 時まで
多摩市立唐木田児童館	多摩市鶴牧六丁目14番地	第 1、第 2、第 3 及 び第 4 日曜日	午前 9 時から 午後 7 時まで

備考

- 1 日曜開館日の開館時間は、午前10時から午後 5 時までとする。
- 2 多摩市立愛宕児童館、多摩市立豊ヶ丘児童館、多摩市立東寺方児童館及び多摩市立桜ヶ丘児童館における土曜日又は多摩市公立学校の管理運営に関する規則（昭和37年多摩市教育委員会規則第 1 号）第 4 条第 1 項第 1 号から第 3 号までに規定する学校の休業日に当たる日の開館時間は、午前 9 時30分から午後 6 時までとする。

2 施設の概要

(1) 開館日及び開館時間、休館日

児童館名	開館日	開館時間	休館日
愛宕児童館 豊ヶ丘児童館 東寺方児童館	月曜日～土曜日	午前10時～午後6時 ただし土曜日、三期休業日は、 午前9時30分～午後6時	日曜日、祝日 年末年始
桜ヶ丘児童館	月曜日～土曜日	午前10時～午後6時 ただし土曜日、三期休業日は、 午前9時30分～午後6時	第1・第3月曜日 日曜日、祝日 年末年始
連光寺児童館 諏訪児童館 落合児童館	月曜日～土曜日	午前9時～午後6時	日曜日、祝日 年末年始
一ノ宮児童館 永山児童館	月曜日～土曜日 第2・4日曜日	午前9時～午後7時 ただし乳幼児や小学生は午後6時まで 日曜日は、午前10時～午後5時	第1・3・5日曜日 祝日、年末年始
唐木田児童館	月曜日～土曜日 第1～4日曜日	午前9時～午後7時 ただし乳幼児や小学生は午後6時まで 日曜日は、午前10時～午後5時	第2・4月曜日 第5日曜日 祝日、年末年始

※一ノ宮・永山・唐木田児童館は、「中高生重点対応館」のため、午後7時まで開館しています。また、一ノ宮・永山・唐木田児童館は、日曜開館を行っています。

(2) 各施設規模（単位：㎡）

項 目 名 称	敷地面積	延床面積	部 屋 別 面 積					
			遊戯室	集会室	図書室	子育てひろば	事務室	その他
一ノ宮児童館	992	451	77	25	9	88	26	226
永 山 児 童 館	997	363	79	54※1	32	※1	20	178
愛 宕 児 童 館	4,477	415	112	29	29	—	29	216
連光寺児童館	1,430	286	90	24	27	79	24	42
豊ヶ丘児童館	2,919	458	109	44	29	—	30	246
東寺方児童館	1,752	522	96	33	20	—	39	334
諏 訪 児 童 館	1,000	340	98※2	41	11	※2	28	162
桜ヶ丘児童館	3,000	296	99※2	—	34	※2	49	114
落 合 児 童 館	2,531	381	86	23	77	81	46	68
唐木田児童館	2,659	613	112	28	23	58	44	348

※1 永山児童館の集会室は子育てひろばを併設しています。

※2 諏訪児童館と桜ヶ丘児童館は、遊戯室に子育てひろばが併設されています。

(3) 各児童館の特徴

①一ノ宮児童館(愛称:けやきっず) 昭和48年(1973)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○	利用者支援事業	○
中高生重点対応館	○	日曜開館	○
利用登録(幼児)	588人	利用登録(小中高)	689人
特徴	1)多摩市最初の児童館ということもあり、地域では親世代からなじみがあること。乳幼児から中高生まで幅広い層の利用があり、来館者数は多摩市内で最も多いこと。 2)周辺の子育て関連施設、健康センターとの連携が強いこと。商店会等との連携も良好。		
課題	1)利用者数に対して、また中高生対応館としては建物が狭く、設備・備品が整っていないこと。 2)壁面の剥がれが目立つ等、施設と設備の老朽化が進んでいること。 3)2階の子育て広場に階段でしか行けない、同広場に授乳室・相談室がないこと、ベビーカー置き場が不足しているといった快適な利用につながる構造になっていないこと 4)中高生対応館として運営するための機能、スタッフの不足		
大規模改修	平成2年度 改修工事(耐震性能確認)		

②永山児童館(愛称:とも～る) 昭和49年(1974)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○	利用者支援事業	○
中高生重点対応館	○	日曜開館	○
利用登録(幼児)	432人	利用登録(小中高)	508人
特徴	1)多摩永山中学校と近接しているため、児童館を利用する中学生も多く、永山高校の生徒も通学途中に顔を出すため、中高生の利用者は比較的多いこと。 2)永山駅から徒歩8分と近いこと、市外からの利用者も比較的多いこと。		
課題	1)敷地面積が狭く、園庭もほとんどないこと。 2)児童館の床面積も狭く、玄関スペースを活用する等工夫しているが、利用者が過ごせるスペースが狭いこと。		
大規模改修	平成4年度 改修工事		

③愛宕児童館(愛称:あいらんど)

昭和50年(1975)運営開始

地域子育て支援拠点事業		利用者支援事業	
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	231人	利用登録(小中高)	545人
特徴	1)市内児童館で最も広い4,477㎡の敷地を持つこと。 2)青少協や地域ボランティアなど拠点を持たない団体の活動場所としても機能していること。		
課題	1)施設の老朽化により隙間風、シミなど古さが目立つ。コンクリートなどの亀裂部が増え、一部補修では追いつかない状態。 2)所在地が愛和小学校に至近のため、小学生利用の殆どが愛和小の児童。エリア内の第三小学校の利用は極端に少ないため移動児童館等での対応が必須。		
大規模改修	平成9年度 改修工事(塗装工事・給排水設備工事・屋根及び防水工事)		

④連光寺児童館(愛称:コスモ)

昭和53年(1978)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○	利用者支援事業	○
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	302人	利用登録(小中高)	374人
特徴	1)令和4年9月より、コミュニティ会館との複合館としてリニューアル。 2)既存地域にあり、連光寺地域での地元意識は高いこと。		
課題	1)所在地が連光寺小学校に至近のため、小学生利用の殆どが連光寺小の児童。エリア内の聖ヶ丘小学校の利用は極端に少ないため移動児童館等での対応が必須。		
大規模改修	令和3、4年度大規模改修実施		

⑤豊ヶ丘児童館(愛称:のびのびハウス) 昭和54年(1979)運営開始

地域子育て支援拠点事業		利用者支援事業	
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	297人	利用登録(小中高)	621人
特徴	1)地域内の子どもたちは減少傾向。 2)福祉館、図書館、地区市民ホールとの複合館で、地域の世代間交流の場となっていること。		
課題	1)施設及び設備の老朽化が著しく、2台のエアコンやサンルーフなど使用できない機器、設備も順次発生していること。 2)地域内の子どもたちは減少しているにも関わらず、個別に対応しなければ解決、緩和できないケースはむしろ増えていること。子どもたちの状況に合わせて学校と情報を共有し、子ども家庭支援センター等の関係機関と連携しながら対応する必要があるケースが多いこと。		
大規模改修			

⑥東寺方児童館(愛称:ビーボ) 昭和56年(1981)運営開始

地域子育て支援拠点事業		利用者支援事業	
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	273人	利用登録(小中高)	507人
特徴	1)図書館、老人福祉館、地区市民ホールと共に複合施設として設立。「東寺方秋まつり」に代表されるような共催行事があり東寺方地区の世代間交流の場として機能していること。 2)公園に隣接しており運動遊びもできること。		
課題	1)開館時間の違う施設と入り口が同じであるが児童館部分のみを区切る仕組みがないため防犯上の懸念があること。 2)隣接している公園や住宅地でのトラブルであっても子どもや地域に関わることをため児童館が対応している状況があること。		
大規模改修			

⑦諏訪児童館(愛称:ヴィヴァーチェ) 昭和57年(1982)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○	利用者支援事業	○
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	423人	利用登録(小中高)	725人
特徴	1)平成28年に「地域子育て支援拠点施設(一般型)」としての事業を開始。諏訪2丁目住宅(現ブリリア多摩ニュータウン)の建て替えに伴って子育て世代が増加し、利用者が大幅に増えたこと。 2)永山駅から遊歩道で徒歩10分、ブリリア多摩ニュータウン、都営諏訪団地に囲まれた立地に位置し、利用登録者数は市内で3番目に多いこと。製作や音楽体験など表現活動が活発。		
課題	1)利用者数に対して児童館の居室可能な施設面積が狭いこと。0歳から小・中学生まで異年齢が混在することから安全管理のため配慮と制限が必要。 2)一時的な対策として廊下など共有スペースも活用しているが、本来の居室、活動場所として適切ではないこと。		
大規模改修	平成24年度 改修工事(バリアフリー、排水・電気設備等)		

⑧桜ヶ丘児童館(愛称:ゆう桜ヶ丘) 平成3年(1991)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○(連携型)	利用者支援事業	
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	393人	利用登録(小中高)	450人
特徴	1)コミセン併設、落ち着いた雰囲気の子童館。 2)コミセン運営協議会との連携強く、共催行事、季節ごとの室内装飾を行い、地域に定着していること。		
課題	1)平成30年度より、一ノ宮児童館長が桜ヶ丘児童館長を兼任、日常の運営において、現場の職員との連絡調整、意思決定に時間がかかる等の支障がある。従来より地域、運協とのコミュニケーションが希薄となり、顔の見える関係を築きにくい。統一した意思決定にも時間を要する。一部館長の業務を担当が負担していること。 2)エリアが3学区にまたがっているため、学校・青少協とのつながりが弱いこと。		
大規模改修	大規模改修無し		

⑨落合児童館(愛称:トムハウス)

平成4年(1992)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○	利用者支援事業	○
中高生重点対応館		日曜開館	
利用登録(幼児)	398人	利用登録(小中高)	446人
特徴	1)西落合地区委員会との関係が強いこと。毎年夏休みには、西落合地区委員会に児童館、学童クラブや近隣幼稚園、小中のPTAや少年スポーツ団体で実行委員会を立ち上げ、「西落合こども夏まつり」を実施していること。 2)コミュニティセンターの利用団体と、夏休みに共催行事を行っていること。		
課題	1)所在地が西落合小学校に至近のため、小学生利用の殆どが西落合小の児童。東落合小学校の利用は極端に少ないため移動児童館等での対応が必須。		
施設改修	令和3、4年度大規模改修実施		

⑩唐木田児童館(愛称:—)

平成23年(2011)運営開始

地域子育て支援拠点事業	○	利用者支援事業	○
中高生重点対応館	○	日曜開館	○
利用登録(幼児)	704人	利用登録(小中高)	954人
特徴	1)多摩市で唯一の児童センター。体力増進指導が出来る広さの遊戯室にバスケットゴールがあり、乳幼児から中高生まで幅広い年齢層の利用があること。 2)市外の住民や市内の広範囲からの利用も多いこと。		
課題	1)専用スペースが縦長で目が届きにくい場所があること。 2)児童館での話し声や物音が建物全体に響き渡ること。		
大規模改修	大規模改修無し		

※以上各館の利用登録者数は、令和4年度実績

3. 18歳未満人口と児童館の利用状況

(1) 多摩市の18歳未満人口の推移（単位：人）

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
乳児(0,1)	2,030	1,892	1,788	1,688	1,538
幼児(2~5)	4,528	4,552	4,403	4,144	3,975
小学生(6~11)	7,433	7,311	7,282	7,194	6,947
中学生(12~14)	3,615	3,604	3,692	3,805	3,838
高校生(15~17)	3,619	3,703	3,666	3,627	3,658
対象者計	21,225	21,062	20,831	20,458	19,956

(2) 令和4年度の児童館別、年代別利用状況

児童館名	開館日数	幼 児	小学生	中・高生	大 人	合 計
一ノ宮児童館	319 日	9,235 人	11,592 人	3,344 人	9,948 人	34,119 人
永山児童館	318	5,538	9,576	2,518	6,200	23,832
愛宕児童館	293	2,481	10,329	1,707	3,590	18,107
連光寺児童館	287	3,496	4,719	842	3,302	12,359
豊ヶ丘児童館	293	2,370	9,114	1,644	3,027	16,155
東寺方児童館	293	1,911	5,306	815	2,800	10,832
諏訪児童館	294	5,320	11,913	1,012	5,423	23,668
桜ヶ丘児童館	273	3,962	5,275	398	4,765	14,400
落合児童館	266	3,675	5,770	493	3,718	13,656
唐木田児童館	318	6,187	9,949	2,227	8,500	26,863
合 計	2,954	44,175	83,543	15,000	51,273	193,991

(3) 令和4年度 児童館別登録者数

児童館名	幼 児	小学生	中・高生	合 計
一ノ宮児童館	588 人	468 人	221 人	1,277 人
永山児童館	432 人	348 人	160 人	940 人
愛宕児童館	231 人	365 人	180 人	776 人
連光寺児童館	302 人	277 人	97 人	676 人
豊ヶ丘児童館	297 人	436 人	185 人	918 人
東寺方児童館	273 人	414 人	93 人	780 人
諏訪児童館	423 人	607 人	118 人	1,148 人
桜ヶ丘児童館	393 人	356 人	94 人	843 人
落合児童館	398 人	379 人	67 人	844 人
唐木田児童館	704 人	672 人	282 人	1,658 人
児童館登録者合計	4,041 人	4,322 人	1,497 人	9,860 人
多摩市年齢別人口	5,513 人	6,947 人	7,496 人	19,956 人
登録者割合	73.30%	62.21%	19.97%	49.41%

※表には、市外からの利用、保護者の利用の実人数を含みません

※多摩市年齢別人口は令和4年4月1日現在

※幼児：0～5歳 小学生：6～11歳 中・高生：12～17歳

4 児童館50周年記念展示アンケート

(1) 聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター（令和5年6月17日～30日）

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
1	関戸	一ノ宮児童館	もう少し近くにあるとうれしい
2	貝取	一ノ宮児童館 永山児童館 愛宕児童館 連光寺児童館 豊ヶ丘児童館 落合児童館 唐木田児童館	どれも50年の歴史が分かり易く、力作で見ても楽しかったです。昔は自由に色々な事ができていたんだな、っとうらやましくなりました。これからもベビー親子や子どもたちのために頑張ってください。
3	諏訪	諏訪児童館	いつも楽しく、遊んでいます♡
4	愛宕	一ノ宮児童館 愛宕児童館 東寺方児童館 諏訪児童館 落合児童館 唐木田児童館	マップ（児童館）が前回よりもすっきりしていて、見やすかったです。
5	愛宕	愛宕児童館	子ども達が小さい頃、お世話になりました。楽しくキャンプや餅つきに参加しました。
6	府中市		わかりません。
7	府中市	永山児童館	すごく楽しくて、やさしかった。
8	諏訪	永山児童館 諏訪児童館 桜ヶ丘児童館	児童館の歴史や取り組みについて、写真がたっぷりで楽しい展示でした。これからも、子どもたちや親子が安心して過ごせる場所でありますように。毎週日曜日開いているとうれしいです。
9	愛宕	愛宕児童館 東寺方児童館 諏訪児童館 桜ヶ丘児童館 唐木田児童館	愛宕児童館にお世話になり、今、大人になりボランティアとして児童館に行っています。これからも続いてほしいです。
10	和田	愛宕児童館	
11	南野	永山児童館 諏訪児童館 落合児童館 唐木田児童館	50周年おめでとうございます、多摩の児童館と共に大きく成長しました。キャンプは夏休みのイベントの1つでした。これからの子どもたちといろいろな体験をできる場所であって欲しいと願っております
12	連光寺	一ノ宮児童館 愛宕児童館 連光寺児童館	どこの児童館も楽しそうで行ってみたいとなりました。これからも楽しいイベント待っています。

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
13	豊ヶ丘	豊ヶ丘児童館	もう50年たつんですね、すごーい！親子で利用の人もたくさんいて、子ども達は市外に出てしまいましたが、たまに懐かしんでいます。
14	和田	一ノ宮児童館 東寺方児童館	スタッフの方が親身でいつも助かっています、ありがとうございます。
15	関戸	連光寺児童館 東寺方児童館 桜ヶ丘児童館	たのしいところ
16	市外		すごく歴史があるんですね
17	市外		地図と写真でとてもわかりやすかったです。かざりもカラフルでかわいいです。
18	市外	諏訪児童館	写真がたくさんあって、見ごたえがありました。
19	市外		1つ1つの児童館の良さを最大限引き出したパネルと共に、これまで行われてきた行事、市内や世間の出来事を見やすくまとめられていて、つい見入ってしまいました。もともと児童館が好きだったので、他市から見に来たのですが、多摩市自体が好きになりました。これだけのクオリティの児童館施策は全国的にもめずらしいし、これからはますます必要になってくると思うので、ぜひ今後も残してほしいと思います。

(2) グリナード永山（令和5年11月23日～12月10日）

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
1	永山	永山児童館	児童館の行事に沢山、参加させていただきました。とても楽しかったです。（そんな子供たちもう高校生！） 永山地区は小学校の目の前に児童館があることがとてもありがたかったです。安心ですし、親もちょっとした相談ができました。これからも頑張ってください！
2	諏訪	一ノ宮児童館 永山児童館 東寺方児童館 連光寺児童館 諏訪児童館 唐木田児童館	児童館50周年、おめでとうございます。子どもが生まれてから早7年になりますが、とーってもお世話になってます。これからも地域の子どもと親のいこいの場であってほしいです。

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
3	連光寺	一ノ宮児童館 永山児童館 愛宕児童館 連光寺児童館 東寺方児童館 諏訪児童館 唐木田児童館 桜ヶ丘児童館 落合児童館	多摩市以外の児童館は利用した事ないですが、多摩市の児童館は幼児に対しても色々なイベントがあってとっても充実していると思います。児童館がなければ他のママと知り合う事もなく1人での子育てになっていたかもしれないので私の子育てには必要でした。今後もイベントに参加させていただきます。
4	豊ヶ丘	一ノ宮児童館 永山児童館 愛宕児童館 連光寺児童館 豊ヶ丘児童館 東寺方児童館 諏訪児童館 桜ヶ丘児童館 落合児童館 唐木田児童館	まるっと児童館行きました。(猫のイラストあり) ゴールドカードになったニャ！
5	永山	永山児童館 唐木田児童館	まるっと児童館楽しかったです。来年も楽しみです。しょうぼう車にのれてうれしかった。
6	永山	永山児童館 愛宕児童館 桜ヶ丘児童館	気が向いた時に気軽にいけるのがいい。イベントもっとやってくれたらうれしい
7	桜ヶ丘	愛宕児童館 東寺方児童館 桜ヶ丘児童館	いつも楽しく遊ばせてもらっています。親子そろって児童館にお世話になりました。これからもずーーーーっと続いてほしいです！！
8			障がいをもつ人も利用しやすく、メールなどでもイベント参加申込みできればいいのになぁ…と前から少し気になってました
9	貝取	諏訪児童館	小学生の頃、児童館の職員と色々遊んだ事を今でも鮮明に覚えています。

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
10	諏訪・永山	永山児童館 諏訪児童館 桜ヶ丘児童館 落合児童館 唐木田児童館	息子が大変お世話になりました。卓球やキャンプ、生活力がつきましたが…年令を重ねると忘れてしまうようです…いつまでも続いてほしいです。
11	桜ヶ丘	一ノ宮児童館 愛宕児童館 桜ヶ丘児童館 唐木田児童館	私の人生は児童館のおかげで豊かになっています。私も子どもも大好きな場所です！
12	永山		
13	永山	永山児童館 唐木田児童館	多摩は児童館が多くて助かっています。これからもよろしくお願いします。
14	諏訪	永山児童館 諏訪児童館 唐木田児童館	たのしかった。子どもの成長を一緒に見守って下さりありがとうございます。
15	諏訪	一ノ宮児童館 永山児童館 諏訪児童館 唐木田児童館	いろいろなものがあっておもしろい
16	永山	一ノ宮児童館 永山児童館 愛宕児童館 連光寺児童館 豊ヶ丘児童館 東寺方児童館 諏訪児童館 桜ヶ丘児童館 落合児童館 唐木田児童館	とてもいい
17	諏訪	永山児童館 諏訪児童館	息子が0才の頃から毎日のように遊びに行っていました。プラレール大好きで、館長ともよく遊んでもらいました。当時のスタッフ皆さんによくしてもらって、楽しかった思い出がいっぱいです。 息子は今小学6年生で、来年はとうとう中学生です。これからも、ずっと、子育てママの味方でいてくれる場所でいてください。

(3) ココリア多摩センター（令和6年1月12日～2月5日）

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
1	唐木田	唐木田児童館	いつも愛用させていただいてます。講座が様々で仕事よく休んでいます（笑）コロナ前の人気だった講座とか復活お願いします。
2	鶴牧	唐木田児童館 落合児童館	おもちゃなどいろいろなあそび、道具があって楽しいです。
3	鶴牧	唐木田児童館 落合児童館	いろいろな児童館のイベントを知れて、こんなのやっていたんだと驚きました。
4	鶴牧	唐木田児童館	昔の児童館のようすや情報などが見れて良かったです。これからも児童館いっぱい行きます。
5	落合	落合児童館 唐木田児童館 永山児童館 豊ヶ丘児童館	いつもありがとうございます。児童館大好きです。
6	落合	落合児童館 唐木田児童館 豊ヶ丘児童館 諏訪児童館 東寺方児童館	昔の児童館の様子が分かる写真の展示がおもしろかったです。
7	永山	永山児童館 諏訪児童館 唐木田児童館	赤ちゃんの頃から2カ月～7カ月頃までよく利用していました。50年の歩みがみれて参考になりました。
8	和田	愛宕児童館 東寺方児童館	愛宕児童館は娘が赤ちゃんの頃からお世話になっています。広々としたお部屋でのびのびと遊べるのは愛宕児童館だけです。ずっと存続してほしい！！地域の子どもたちの大切な居場所です。職員の方々も親切で大好きです！！
9	和田	愛宕児童館	愛宕児童館に娘がお世話になっています。これからも愛宕地区で存続してほしいと思います。団地もあり子どもも多く、いつも賑わっていて素敵だと思います。
10	愛宕	愛宕児童館 唐木田児童館	やさしく対応してくれる。
11	豊ヶ丘	豊ヶ丘児童館	たいへんよかったです。ありがとうございました。
12	聖ヶ丘	一ノ宮児童館 永山児童館 連光寺児童館	いつもありがとうございます☺児童館サイコー！！

No.	お住いの地区	利用した事のある児童館	感想
13	市外		たくさんの想いがすごく胸に響いた。是非、すべてを叶えてあげていただきたい。
14	市外		歴史を感じました。出来事の選び方がすばらしい。
15	市外		なつかしく拝見しました。職員の方も大変と思いますが、健康に気を付けて頑張ってください。（平成時代の元館長）
16	市外		多摩出身ですが、現在は八王子に住んでいます。土曜日は夫が仕事なので多摩の実家によく帰ってきています。多摩は八王子に比べてとても子どもや地域に対して熱心に取り組んでいて、素敵です。これおからも子どもが楽しめるイベントなど楽しみにしています😊
17	市外	一ノ宮児童館 永山児童館 東寺方児童館 落合児童館 唐木田児童館	まるっと児童館のイベントに参加しました。お金がかからず楽しいことがいっぱい、さすが児童館と思いました。音楽・工作・遊び、小さい子からお年寄りまで障害のある人もない人も楽しめるすばらしいイベントでした。4時までいろんな工作をしていたことも嬉しいことでした。どこも2～3時でおわりが多いけど、子どもは昼食後にまたひと遊びしたいものです。子どもも親もゆっくり楽しめた1日。多摩の児童館ですごい！！会場が笑顔でいっぱいでした。ありがとうございました。